

社会に役立つ老後生活を

自立した新しい高齢者の生き方を追求する「新老人の会」（日野原重明会長）の「富士山支部」は4月22日、医師の日野原会長を招いた支部の設立記念フォーラム（静岡新聞社・静岡放送後援）を静岡市内で開く。

新老人の会は、日野原氏が老後の自由な時間を社会のために有意義に使うことを提唱し、2000年に発足した。子どもたちに平和と愛の大切さを伝えることを使命とし、戦争体験の伝



完成したポスターについて話す遠山所長（右から2人目）
＝静岡市内

4月22日 設立記念フォーラム 日野原氏が講演

承、多彩なイベントによる会員同士の交流などを行っている。

富士山支部は、県内では西部中心の静岡支部に続く支部で、中東部が対象。世話人代表の遠山和成SBS静岡健康増進センター所長は「年を重ねても身の回りのことは自分でやり、人との付き合いを楽しみ、自立することが大切。そのチャンスになる会にしたい」と話す。

設立記念フォーラムは4月22日午後1時から、静岡市葵区黒金町のホテルアソシア静岡で開かれる。日野原氏の100歳記念講演会「輝いて生きる」、市民合唱グループ「カンティアーモ常葉」のステージを予定している。定員500人、参加費2千円。

希望者は往復はがきに①郵便番号②住所③氏名④電話番号を記入して、420-0882 静岡市葵区安東2の17の3、T. A. F. 内「新老人の会」富士山支部へ送る。問い合わせは「新老人の会」富士山支部事務局へ電054(248)8005へ。